

# Uila uObserve アンインストール手順

rev.1

2024/5/27

株式会社東陽テクニカ

情報通信システムソリューション部

- /// 本資料はUila uObserveのご利用を終了される際に、アンインストールを行う手順をご説明するものです。
- /// 本資料はUila 5.5、およびVMware vCenter 6.7U3をベースに作成していますが、同様の手順が他の幅広いバージョンでも適用いただけます。
- /// 本ドキュメントの不明点などについては、東陽テクニカ脳営業担当者、または東陽テクニカUilaサポート窓口 ([uila-support@toyo.co.jp](mailto:uila-support@toyo.co.jp))までお問い合わせください。

## ／ vSTのアンインストール

- 》 ブラウザにてUila uObserve GUIにアクセスして、プルダウンメニューからアンインストールを実施
- 》 vSTが複数インストールされている場合はすべてアンインストールします

## ／ vICのアンインストール

- 》 vCenterにアクセスして、vICのVMをパワーオフ
- 》 vICのVMを削除

## ／ UMAS VMの停止

- 》 vCenterにアクセスして、UMASのVMをパワーオフ
- 》 UMASのVMを削除

## ／ インストール時に自動生成されたモニタ用ポートグループの削除

- 》 vCenterにアクセスして、ポートグループを削除

# アンインストール手順① - vSTのアンインストール



- ブラウザにてUila uObserve GUIにアクセスして、設定&ログ -> 設定 -> VSTの設置 タブを開きます。
  - GUIの表示を英語にしている場合は、Settings & Logs -> Settings -> VST Configuration を開きます。
- VSTの歯車アイコンのプルダウンメニューからアンインストールを選択します。
  - vSTが複数インストールされている場合はすべてのvSTについてこの作業を繰り返します。

タイプ	アクティブなライセンス	使用中	可用性
VST/ソケット	200	8	192
外部のVST	0	0	0
IST	20	2	18
合計3件中			

タイプ	アクティブなライセンス	使用中	可用性
	200	0	200

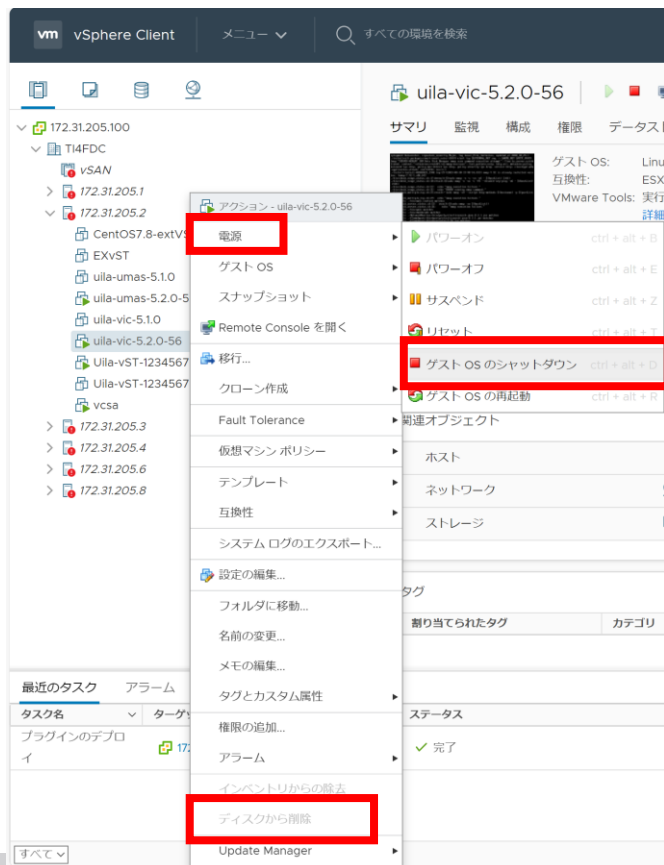
  

クラスタ	ホスト (CPUソケット)	VSTの設置	アクション	仮想スイッチ/分散仮想スイッチ	VSTステータス
172.31.205.1 (2)			インストール	Virtual Network-iharay	
		vSwitch0	アンインストール		アクティブ
172.31.205.2 (2)			インストール	iharay_Virtual Network	
		vSwitch0	アンインストール		アクティブ
			インストール	vSwitch1	

# アンインストール手順② - vicのアンインストール



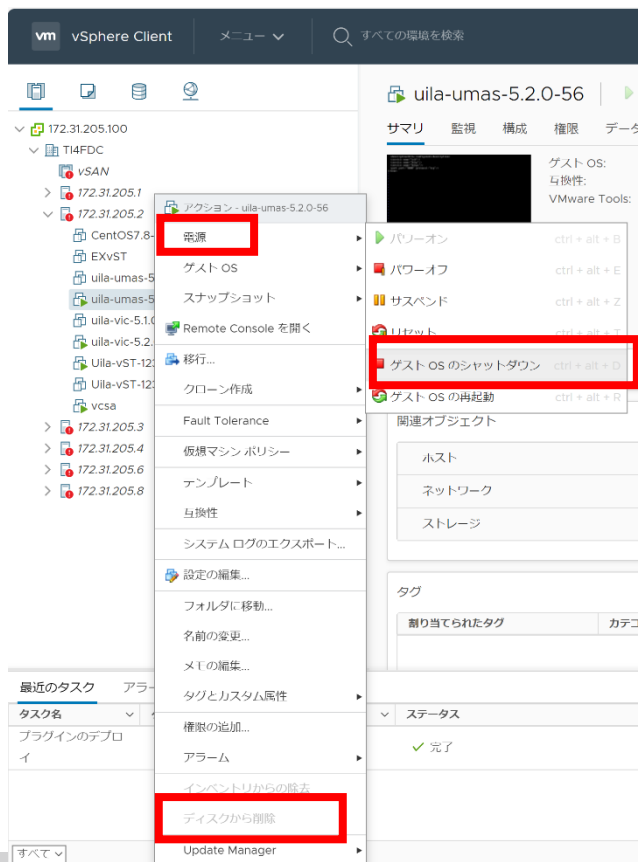
- ✓ vCenterにアクセスして、vicのVMを選択し、右クリックメニューから「ゲストOSのシャットダウン」を選択して、vic VMを停止します。
- ✓ vic VMが停止したら、右クリックメニューから「ディスクから削除」を選択して、vic VMを削除します。
  - 》 「ディスクから削除」メニューのグレーアウトはVMが停止すると解除され、使用可能になります。



# アンインストール手順③ - UMASのアンインストール



- ✓ vCenterにアクセスして、UMASのVMを選択し、右クリックメニューから「ゲストOSのシャットダウン」を選択して、vIC VMを停止します。
- ✓ UMAS VMが停止したら、右クリックメニューから「ディスクから削除」を選択して、UMAS VMを削除します。
  - 》 「ディスクから削除」メニューのグレイアウトはVMが停止すると解除され、使用可能になります。



# アンインストール手順④ - インストール時に自動生成されたモニタ用ポートグループの削除



- ✓ vCenterにアクセスして、ホストおよびクラスタの画面から、vSTがインストールされていたESXiホストを選択し、構成 タブ -> ネットワーク -> 仮想スイッチ を選択します。
- ✓ 削除対象のポートグループ名右側の「...」メニューを開き、削除を選択します。
  - 》 vSTのインストール時にUilaが自動生成したポートグループは、「Uila-Monitor-」から始まる名前になっていますのでこれを削除します。
  - 》 vSTがインストールされていたESXiホストすべてについて作業を繰り返して、インストール時に自動生成されたモニタ用ポートグループをすべて削除します。

The screenshot shows the vSphere Client interface. In the left sidebar, the host '172.31.205.1' is selected, and the '仮想スイッチ' (Virtual Switch) option is highlighted in the 'ネットワーク' (Network) menu. The main content area shows the configuration for 'Uila-Monitor-vSwitch0'. A context menu is open over this switch, with the '削除' (Delete) option highlighted. Other visible options in the context menu include '設定の表示' (Show Settings) and '設定の編集' (Edit Settings).

“はかる”技術で未来を創る



**東陽テクニカ**



<https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/uila.html>